

街道を歩く

東海道：03 湊町(豊橋)ー下地ー佐奈橋(小坂井町)



東漸寺

元は前芝村にあったが廃寺となり
延命地藏尊を祀る小堂がのこる。
津波によりこの地に流れ着いたので
村人が崇め祀った。明応元年(1492)
3代伊奈城主本多正時が堂宇を建てる
知多郡緒川より亨隱慶泉禪師を招き
開山。本多家累代の菩提寺とする。

花ヶ池

享禄2年(1529)岡崎城主松平清康は吉田城
を攻めた。時の伊奈城主本多正忠は清康に
従い奮戦、吉田城を攻略した。正忠は伊奈城
に清康を迎え戦勝の宴を開いた。その時城内
の花ヶ池の水葵の葉に肴を盛ったところ清康
は喜んだという。これがもともと本多家の家紋
が立葵となる。

伊奈城址

伊奈本多は藤原鎌足を遠祖とし、藤原北家
太政大臣兼通から14代の助秀に至り本多を
姓とした。その嫡男助定は延元元年(1336)
足利尊氏が大宰府に兵を挙げるやこれに従
い功労があったので尾張国横根、栗飯原の
地を与えられた。その3代後定忠は
嫡男定助と東三河にきてこの地
を拠点にし城を築いた。



お松見 (本多氏廟所)
6代城主忠俊とその妻、
その嫡子光忠とその妻
7代城主忠次の5名の
墓碑がある。



前芝燈明台



伊奈茶屋本陣跡

貞享4年(1687)吉田藩主小笠原吉岐守長祐
の時に保科豊後守正容が將軍の名代として
京都に行く時に当地に御馳走茶屋を建て
御茶屋又左門を詰めさせたのがはじまり。
東京遷都の時明治天皇この茶屋でご休息
される。この井戸水の茶を飲まれたとか。
芭蕉句碑 "かくさめそ 宿は菜汁に 唐が羅し"



菟足神社 (祭神 菟上足尼命)

菟上足尼命は雄略天皇の御代(5世紀後半)
に穗の国(東三河地方)の国造に任じられた。
死後平井の柏木浜に祀られていた天武天皇の
白鳳15年(686)に現在地に遷祀されたとされる。
4月の風祭りは有名。



若宮大社 (祭神 大佐々木命(仁徳))

菟足神社の祭礼の時神輿の
お旅所となる
大イチョウ樹齢不明なるも神社
創立のころ植えたとなれば440
年ほどになる



瓜郷遺跡

弘生時代中期の遺跡、昭和22年に発見
時代的に唐古遺跡(奈良)と土呂遺跡の中間
2本の棟持柱、切妻屋根、平地住居。
H13-6-19火災に遭う。

火災前の瓜郷遺跡



聖眼寺 (真宗高田派)

平安時代の初め慈覚開祖
1604年浄土真宗に改宗
朝廷、幕府の厚遇を受ける。
境内に芭蕉の松葉塚
"ごを焼て 手拭
あぶる 寒さ哉"
芭蕉は貞享4年伊良胡
崎畑村に蟄居中の
愛弟子坪井社国の
身を案じて訪れ、
途中ここに立寄る。



聖眼寺境内芭蕉の松葉塚